



Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラのインストール

この章は、次の項で構成されています。

- [App Store を使用した Nexusダッシュボードファブリック コントローラ サービスのインストール \(1 ページ\)](#)
- [Nexusダッシュボードファブリック コントローラ サービスの手動インストール \(3 ページ\)](#)

App Store を使用した Nexusダッシュボードファブリック コントローラ サービスのインストール

既存のCisco Nexus Dashboard クラスタに Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ リリース 12.1.1e をインストールするには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco Nexus Dashboard の必要なフォームファクタがインストールされていることを確認します。手順については、「[Cisco Nexus ダッシュボード導入ガイド](#)」。
- [前提条件](#) に記載されている要件とガイドラインを満たしていることを確認します。
- KVM 上の Nexus Dashboard に NDFC を展開することを選択した場合は、Centos7 を使用して Nexus Dashboard を KVM にインストールする前に、Linux でブリッジインターフェイスを作成する必要があります。Nexus Dashboard をインストールする間は他のインターフェイスを使用せず、ブリッジインターフェイスを使用してください。
- Cisco DC App Center は、管理ネットワークを介して直接、またはプロキシ設定を使用して Nexus Dashboard から到達可能である必要があります。Nexus Dashboard のプロキシ構成については、[Cisco Nexus ダッシュボードユーザーガイド](#)を参照してください。

DC App Center への接続を確立できない場合は、このセクションをスキップして、[Nexusダッシュボードファブリックコントローラサービスの手動インストール \(3 ページ\)](#) の手順に従ってください。

- Cisco Nexus Dashboard で、サービスに IP プールアドレスが割り当てられていることを確認します。詳細については、[Cisco Nexusダッシュボードユーザーガイド](#) の「*Cluster Configuration*」の項を参照してください。

手順

- ステップ 1** 適切なクレデンシャルを使用して、Cisco Nexus Dashboard Web UIを起動します。
- ステップ 2** 左側のナビゲーションペインで[管理コンソール (Admin Console)]>[サービス (Services)]メニューをクリックし、[Services Catalog] ウィンドウを開きます。
- ステップ 3** [App Store] タブで Nexusダッシュボードファブリックコントローラ リリース 12.1.1e カードを特定し、[インストール (Install)] をクリックします。
- ステップ 4** [ライセンス契約 (License Agreement)] 画面で、[CISCO APP CENTER AGREEMENT] を読み、[同意してダウンロード (Agree and Download)] をクリックします。

アプリケーションが Nexus Dashboard にダウンロードされ、展開されるまで待ちます。

アプリケーションがすべてのノードおよびすべてのサービスに完全に展開されるまでには、最大 30 分かかります。

Nexusダッシュボードファブリックコントローラアプリケーションがサービスカタログに表示されます。ステータスは[初期化中 (Initializing)] として表示されます。

- ステップ 5** [有効化 (Enable)] をクリックします。

サービスが有効になると、Nexusダッシュボードファブリックコントローラカードのボタンに[開く (Open)] と表示されます。

すべてのポッドとコンテナが稼働するまで待ちます。

- ステップ 6** [開く (Open)] をクリックして、Cisco Nexus Dashboard ファブリックコントローラ Web UI を起動します。

(注) シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus Dashboard で使用したものと同一クレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

Nexus Dashboard ファブリックコントローラ Web UI が新しいブラウザで開きます。[フィーチャ管理] ウィンドウが表示されます。

(注) 外部サービスプールの IP アドレスが設定されていない場合は、エラーメッセージが表示されます。[Nexus Dashboard] Web UI>[インフラストラクチャ (Infrastructure)]>[クラスタ設定 (Cluster Configuration)] に移動します。[外部サービスプール (External Service Pools)] セクションで管理サービスとデータサービスの IP アドレスを設定します。詳細については、[Cisco Nexusダッシュボードユーザーガイド](#) の「*Cluster Configuration*」の項を参照してください。

[ファブリック検出 (Fabric Discovery)]、[ファブリック コントローラ (Fabric Controller)]、および [SAN コントローラ (SAN Controller)] の3つのカードが表示されます。

ステップ7 要件に基づいて、展開を選択します。

[フィーチャ (Features)] のリストから、Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ の展開で有効にする必要がある機能を選択します。

(注) 表示されるフィーチャのリストは、カードで選択した展開に基づいています。

ステップ8 [適用 (Apply)] をクリックして、選択したフィーチャで Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ を展開します。

インストールが完了すると、展開カードとすべてのフィーチャのステータスが [開始 (Started)] になります。

Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ サービスの手動インストール

既存の Cisco Nexus Dashboard クラスタに Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ リリース 12.1.1e を手動でアップロードしてインストールするには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco Nexus Dashboard の必要なフォームファクタがインストールされていることを確認します。手順については、「[Cisco Nexus ダッシュボード導入ガイド](#)」。
- **前提条件** に記載されている要件とガイドラインを満たしていることを確認します。
- KVM 上の Nexus Dashboard に NDFC を展開することを選択した場合は、Centos7 を使用して Nexus Dashboard を KVM にインストールする前に、Linux でブリッジインターフェイスを作成する必要があります。Nexus Dashboard をインストールする間には他のインターフェイスを使用せず、ブリッジインターフェイスを使用してください。
- Cisco Nexus Dashboard で、サービスに IP プールアドレスが割り当てられていることを確認します。詳細については、[Cisco Nexus ダッシュボードユーザーガイド](#) の「*Cluster Configuration*」の項を参照してください。

手順

ステップ1 次のサイトに移動します。 <https://dcappcenter.cisco.com>

[Cisco DC のアプリケーション センター] ページが開きます。

[すべてのアプリケーション (All apps)] セクションで、すべてのアプリケーションは Cisco Nexus Dashboard でサポートされています。

ステップ 2 Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ リリース 12.1.1e アプリケーションを見つけ、[ダウンロード (Download)] アイコンをクリックします。

ステップ 3 [ライセンス契約 (License Agreement)] 画面で、[CISCO APP CENTER AGREEMENT] を読み、[同意してダウンロード (Agree and Download)] をクリックします。

Nexusダッシュボードにインポート/アップロードする必要があるときに見つけやすいように、Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ アプリケーションをディレクトリに保存します。

ステップ 4 適切なクレデンシャルを使用してCisco Nexusダッシュボードを起動します。

ステップ 5 Cisco Nexus Dashboard にインストールされているサービスを表示するには、[管理コンソール (Admin Console)] > [サービス (Services)] > [インストール済みのサービス (Installed Services)] の順に選択します。

ステップ 6 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[サービスのアップロード (Upload Service)] を選択します。

ステップ 7 [ロケーション (Location)] トグルボタンを選択し、[リモート (Remote)] または [ローカル (Local)] を選択します。

リモート ディレクトリまたはローカル ディレクトリからサービスをアップロードできます。

- [リモート (Remote)] を選択した場合は、[URL] フィールドに、Nexusダッシュボード ファブリック コントローラアプリケーションが保存されているディレクトリへの絶対パスを入力します。
- [ローカル (Local)] を選択した場合は、[参照 (Browse)] をクリックして、Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ アプリケーションが保存されている場所に移動します。アプリケーションを選択し、[開く (Open)] をクリックします。

ステップ 8 [アップロード (Upload)] をクリックします。

Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ アプリケーションがサービス カタログに表示されます。ステータスは [初期化中 (Initializing)] として表示されます。

アプリケーションが Nexus Dashboard にダウンロードされ、展開されるまで待ちます。

アプリケーションがすべてのノードおよびすべてのサービスに完全に展開されるまでには、最大 30 分かかります。

Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ アプリケーションがサービス カタログに表示されます。ステータスは [初期化中 (Initializing)] として表示されます。

ステップ 9 [有効化 (Enable)] をクリックします。

サービスが有効になると、Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ カードのボタンに [開く (Open)] と表示されます。

すべてのポッドとコンテナが稼働するまで待ちます。

ステップ 10 [開く (Open)] をクリックして、Cisco Nexus Dashboard ファブリック コントローラ Web UI を起動します。

(注) シングル サインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus Dashboard で使用したものと 同じクレデンシアルを使用してアプリケーションにログインできます。

Nexus Dashboard ファブリック コントローラ Web UI が新しいブラウザで開きます。[フィーチャ管理] ウィンドウが表示されます。

(注) 外部サービスプールの IP アドレスが設定されていない場合は、エラー メッセージが表示されます。[Nexus Dashboard] Web UI > [インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [クラスタ設定 (Cluster Configuration)] に移動します。[外部サービス プール (External Service Pools)] セクションで管理サービスとデータサービスの IP アドレスを設定します。詳細については、Cisco Nexus ダッシュボード ユーザー ガイドの「Cluster Configuration」の項を参照してください。

[ファブリック検出 (Fabric Discovery)]、[ファブリック コントローラ (Fabric Controller)]、および [SAN コントローラ (SAN Controller)] の 3 つのカードが表示されます。

ステップ 11 要件に基づいて、展開を選択します。

[フィーチャ (Features)] のリストから、Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ の展開で有効にする必要がある機能を選択します。

(注) 表示されるフィーチャのリストは、カードで選択した展開に基づいています。

ステップ 12 [適用 (Apply)] をクリックして、選択したフィーチャで Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ を展開します。

インストールが完了すると、展開カードとすべてのフィーチャのステータスが [開始 (Started)] になります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。